

伊万里 市議会だより

第46号

平成25年
(2013年)

7月



風鈴まつり開催中 (秘窯の里 伊万里大川内山)



市民納涼花火大会と同日開催が決定



毎月第3日曜日 好評開催中

6月補正額
7億924万円

予算総額
230億6,539万円

(対前年度同期
+2億4,462万円、+11.9%)

★平成25年第3回定例会は9月2日(月)開会予定です。

平成25年伊万里市議会第2回定例会
会期日程

6月 開議時刻 午前10時

日	種別	内容
10(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等 21件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
12(水)	本会議	議案等に対する質疑
13(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
17(月)	本会議	一般市政に対する質問
18(火)	本会議	一般市政に対する質問
19(水)	本会議	一般市政に対する質問 伊万里・有田地区医療福祉組合議会議員の選挙 伊万里・有田地区衛生組合議会議員の選挙 佐賀県西部広域環境組合議会議員の選挙
20(木)	休会	常任委員会
21(金)	休会	常任委員会
24(月)	休会	正副委員長会
26(水)	本会議	決議案の上程 決議案の提案理由説明 決議案に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

議会ホットコーナー

全国市議会議長会
永年勤続表彰

・勤続10年以上



草野 謙 議員



前田 久年 議員



樋渡 雅純 議員



渡邊 英洋 議員

次の人事案件を承認しました

人権擁護委員

- 片岡 直嗣さん (59・大坪町)
- 福地 佳野さん (40・波多津町)
- 山本 和良さん (62・山代町)

定例会会期日程など

議案質疑

高額補助に疑問あり

強い農業づくり交付金事業として、パプリカ栽培を始める「リッチフィールド伊万里」(議会途中で「アースマインド伊万里」に変更)への補助金5079万円が支出されます。3月の当初予算では約1億6千万円の事業計画で約8114万円の補助金が決まっていたましたが、今回1億3193万円を追加補助金も5079万円上乗せするものです。この結果、事業費は2億6388万円となり、補助金も1億5227万円になるものです。全額国、県の補助ですが、パプリカはすでに韓国やその他の国で生産され93%が輸入に頼っている中で、これだけの投資、補助金を税金で負担して大丈夫なのか、需要はあるのか、設備投資にお金をかけすぎているのかなどの「疑問」や「不安」が出されました。

しかし、国県の事業計画の審査はパスしており、市として問題はないと考える、との回答がありました。



5月臨時市議会 新しい副議長に「松尾博幸」議員

5月14日に「臨時市議会」が開催されました。

議会の申し合わせにより、議長の任期は4年ですので変更はありませんが、その他の議員の役職は2年交代に決まっているための変更がありました。

副議長は「松尾博幸」議員と「福田喜一」議員が立候補し、投票の結果「松尾博幸」議員が当選され新しい副議長に決まりました。

また「監査委員」には「占野秀男」議員が決まりました。

このほか、新しい議会運営委員と正副委員長、各常任委員会委員と正副委員長が決まり、これから2年間の役割が決まりました。なお、各委員会所属議員は、委員会報告ページを参照してください。

このほか提出され議決した議案

専決処分3件

- 特別交付税等の確定に伴うH24年度補正
- 国保税の軽減特例措置の延長
- 耐震改修を実施した場合の固定資産税減額する条例改正

固定資産評価員の選任（多久島 功・税務課長）

一般会計補正予算（第1号）

特別会計（4件）補正予算（1号）

- H24年度の決算歳入不足の見込みにより
- H25年度歳入を繰り上げて充用するもの。

報告4件

会派移動 5月14日付

香月議員（新志会）が「伊想会」へ

会派の名称変更 6月12日付

伊政会から「ぎずな」に変更

6月定例市議会決定事項 一部事務組合議会議員

伊万里市や他の市町と共同で運営していく「一部事務組合議会議員」も次のように選出されました。

伊万里・有田地区 医療福祉組合議会

伊万里市と有田町で共同運営する共立病院、特老くにみを一部事務組合として運営していますが、その運営に関して市町の首長や市町の議員で構成される議会を設置して協議、運営するものです。

その議会議員の伊万里市議会代表議員が次のように決まりました。

- 副議長 内山 泰宏
- 議員 松尾 博幸
- 山口 恭寿
- 松永 孝三
- 笠原 義久
- 占野 秀男

伊万里・有田地区 衛生組合議会

伊万里市と有田町の公共下水道事業を始めとする「し尿処理」に関する業務運営を行う一部事務組合の議会で、市町の首長、議会議員で構成し、協議、運営する議会です。

- 議長 内山 泰宏
- 議員 東 真生
- 井手 清敏
- 副島 明
- 多久島 繁
- 樋渡 雅純
- 田中 啓三
- 福田 喜一

佐賀県西部 広域環境組合議会

佐賀県の西部地区4市5町（伊万里市・武雄市・鹿島市・嬉野市・有田町・大町町・白石町・江北町・太良町）で構成する「広域ごみ処理」のための一部事務組合で、この施設建設、運営、管理を行うため協議、運営する議会です。

- 議員 松尾 博幸
- 草野 讓

江頭 興宣
(執行部より)

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

当委員会に付託されました条例議案2件、一般議案4件、補正予算議案1件について審査の結果、原案の通り可決すべきものと決定いたしました。主な内容は次の通りです。

○伊万里市職員の給与の特例に関する条例

国(総務省)から「復興財源に充てるために減額した国家公務員給与に対し、地方公務員の給与が上回ったので、その分を削減するように」との要請があり、また一方で地方交付税1億1900万円が減額されることになった。そこで、その減額分に充てるために市職員の給料・管理職手当・特別職給料を、7月から来年3月までの9ヶ月間削減する。

削減率は以下の通り

①給料

- ・一般職員 3.84%
- ・係長、副課長級 6.25%
- ・管理職 7.86%

②管理職手当 10%

③特別職給料(市長・副市長・教育長・監査委員) 10%

《意見》

- ・地方交付税は地方固有の財源であり、このようなやり方で削減するのは言語道断。賛成しかねるが、今年度の財源として予算化している1億1900万円の代替案を示さなければ無責任になるため苦渋の選択である。
- ・既に地方が公務員定数削減等による人件費削減などの行革を重ねていることを国は評価していないのではないか。
- ・このような手法が繰り返されないように、国や国会に物申すべきだ。

総務費

○甲子園プロジェクト支援事業

……67万4千円(トータル86万5千円)

「市内の高校が甲子園に出場するとまちが元気になる」との意図により新設された部署での新たな事業に対する予算。9月上旬に高校野球強化試合を行うとともに、小中学生の指導者研修を2回計画。

《意見》

- ・高校野球には制限も多いので、高校野球連盟の指導を受け、適切な予算執行を。
- ・他のスポーツとのバランスを考慮した予算措置を。

消防費

○災害対策事業 ……………50万円

県「地域防災力向上促進事業」を活用し、職員と住民の初動体制の確認などの災害時初動体制訓練を行う。8月31日(土)、9月1日(日)に実施予定

《意見》

- ・防災講演会の後に計画されている「クロスロードゲーム」は、進行の仕方では結果が大きく違うので工夫を。昨年度、総務委員会の行政視察で体験し、災害時に「自分の頭で考える訓練」であることを実感した。今回は時間的に難しいとしても、いずれ本格的な実施を。



総務委員会メンバー

- ◎樋渡 雅純 ○梶山 太
内山 泰宏 馬場 繁 多久島 繁
前田 久年 笠原 義久 盛 泰子

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、
教育委員会

当委員会に付託されました条例議案2件、25年度一般会計補正予算3件、25年度特別会計補正予算1件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な内容は下記のとおりです。

民生費

○シルバー人材センター支援事業

……………169万3千円

シルバーワークプラザ伊万里の老朽化に伴い外壁の改修を行う。

○生活保護適正化推進事業……………88万8千円

平成25年8月予定の生活保護基準見直しに伴い、生活保護システムの改修を行う。

衛生費

○予防接種事業（風しん予防接種費助成金）

……………564万1千円

妊婦の風しんへの感染リスクを下げ、安心して出産ができるように、妊娠を予定または希望する19歳以上の女性や妊婦と同居する夫の風しん予防接種に対し助成を行うもので、委員会として十分な周知をして欲しいと要望しました。

○糖尿病等生活習慣病予防事業……………175万円

30歳以上の特定健診受信者で糖尿病・高血圧・脂質異常・メタボリックシンドロームの疑いがあると診断された者に対し、生活習慣病予防のための健康支援講座を開設する。

○広域ごみ処理施設建設に係る地域振興策事業

……………4205万7千円

佐賀県西部広域環境組合と松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会との間で締結された地域振興策協定に基づき、組合からの依頼を受け、平成25年度から松浦町の地域振興策事業を行う。

○広域ごみ処理施設建設に係る地域振興基金

……………1億9204万3千円

佐賀県西部広域環境組合と松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会との間で締結された地域振興協定に基づき、組合から依頼を受け、平成25年度から松浦町の地域振興策事業を行うための事業費を積立てるもの。

教育費

○教育振興総務事業（原子力・エネルギー教育支援事業）……………16万4千円

牧島小学校においてエネルギーとして最も身近にある電気の特性を学習するために、授業に必要な教材を購入するとともに、施設見学を行う。

○教育振興総務事業（教育支援員の配置）

……………78万9千円

大坪小学校に、4月から新たに帰国子女の児童が入学したことに伴い、教育支援員を1名追加配置。

○「進」魅力ある学校づくり推進事業

波多津小学校、伊万里中学校、国見中学校で魅力ある学校づくりを推進する。

○社会教育総務事業（コミュニティ助成事業費補助金）

南波多町府招上区 浮立用衣装、映像記録用機器の整備

大川町駒鳴区 屋外放送設備の整備

○公民館管理運営事業……………1000万円

コミュニティ助成事業を活用し、二里公民館において障害者用トイレの設置及び講堂のバリアフリー工事を行うもの。他の公民館に関して、申請枠が1件のため毎年1件づつこの助成事業を活用して行くとのこと。

○散弾銃射撃場環境対策事業……………56万5千円

散弾銃射撃場の鉛対策の基礎となる土壌調査の範囲や方法など、有識者を交えた検討委員会立ち上げるが、立ち上げる検討委員会は非公開となっているため、公開を要望しました。



文教厚生委員会メンバー

◎草野 譲 ○山口 恭寿
福田 喜一 渡邊 英洋 松尾 雅宏
松永 孝三 副島 明 東 真生

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

6月定例会において当委員会に付託の

- ・議案第50号 伊万里市工場等の設置奨励に関する条例制定について
- ・議案第55号 平成25年度伊万里市一般会計補正予算（第2号）についてのうち
 - 第1条 歳出 第6款 農林水産業費
 - ” 第7款 商工費
 - ” 第8款 土木費

6月20日及び21日に委員会を開催しました。

議案審査の結果は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、特記すべき審査内容・意見は、次のとおりです。

農林水産業費

○農業・食品産業強化対策整備交付金

……………5079万3千円

農産品パプリカの特産品化を目指し、新規に企業を立ち上げ事業に取り組まれることに対する交付金であるが、TPP交渉など国際競争が激しい中での起業化であり、特に販売先、採算性や永続性などについて多くの議論がありました。

今後において、更なる行政指導と経営の安定化、特産品化実現が期待されるところです。

○森林整備加速化・林業再生事業費補助金

……………3億4727万7千円

九州北部地域における間伐材を含め、杉材の有効活用を図るための設備等に要する経費に対する補助金交付であり、林業・木材産業の振興と東日本大震災の復興支援事業も兼ねており、原木の収集方法、生産品目、需要見込等多くの質疑がありました。倒木材を含め、杉材の利活用が大いに期待されるものであり、雇用拡大にも繋げ、更なる事業展開が望まれるところです。

商工費

○観光マスコットキャラクター製作

……………47万円

伊万里の観光と産業振興（伊万里牛）を図るため、伊万里ブランドの販売促進とPR活動を積極的に展開するよう、これまでの「いまりんモーモちゃん」に加え「いまりんモーモくん」を製作するものであります。

製作の理由は着ぐるみのクリーニングの必要性からであるが、「双子」の想定ではなく「ペア」としてはどうか、2体同時貸し出し要請に対する対応など多くの議論がありました。

熊本県の「くまモン」の活躍振りがよく報道されるように、本市のマスコットの活躍が大いに期待されるところです。



中国木材榭視察



産業建設委員会メンバー

◎高木 久彦 ○井手 勲
 松尾 博幸 香月 孝夫 前田 和人
 井手 清敏 占野 秀男 田中 啓三

議会運営委員会

議会運営委員会は、定例議会と臨時議会の開催について、その内容、会期内の議事、日程を決めること、その他の議会運営に関するすべてのことを議会条例、規則、申し合わせ事項に沿って協議決定します。

これまで約2年間検討してきた、議会改革案については、継続してまいります。また、すでに合意できたものは、改革しております。

今後、更に改革すべき課題については、検討協議を進めています。タブレット端末の導入をいたしますが、行政から議員に配布する案内、資料等を郵送やFAXから、デジタル化し、経費削減と議員全員に情報の共有を図り、市民との対話や説明等に利活用する目的で導入します。

ただし、通信料については議員の負担（一部助成）です。

委員長	松永	孝三
副委員長	馬場	繁
委員	井手	清敏
	梶山	太
	笠原	義久
	占野	秀男
	田中	啓三
	盛	泰子



特別委員会の設置

交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会

市民生活の向上のため、西九州自動車道早期完成の促進、伊万里港の整備、ポートセールスの促進、及び優良企業の誘致促進等に関する調査活動を行う。

委員長	福田	喜一		
副委員長	前田	和人		
委員	香月	孝夫	井手	勲
	山口	恭寿	松尾	雅宏
	渡邊	英洋		



防災・環境施設対策調査特別委員会

原発の安全対策を含めた防災対策に関する調査活動、及び既存施設の老朽化に伴う新たな一般廃棄物処理施設の整備等に関する調査活動を行う。

委員長	前田	久年		
副委員長	東	真生		
委員	副島	明	多久島	繁
	草野	譲	樋渡	雅純
	高木	久彦		



一 般 質 問 (質問順)

一般質問事項・一般質問

議員名	質問事項	議員名	質問事項
草野 讓 (一問一答)	1. 民生委員、児童委員について 2. 大気汚染関連について	副島 明 (一問一答)	1. 地域の元気推進事業について 2. 第3次財政基盤安定化計画(改定版)について 3. 原子力災害防災対策事業について 4. 九州電力との安全協定について
山口 恭寿 (一問一答)	1. ごみ集積所整備費補助事業について 2. 防犯灯設置費助成事業について 3. 中学生の立志式について	多久島 繁 (一問一答)	1. 伊万里市空き家等の適正管理に関する条例について (1)第3条 所有者等の責務 (2)第9条 補助金の交付 (3)第10条 寄附 (4)第13条 代執行 2. 伊万里港(浦之崎地区)廃棄物処理用地について (1)土砂の受入状況等
盛 泰子 (一問一答)	1. 危機管理について (1)原発事故時の避難所 (2)情報伝達手段の検討状況 (3)災害時要援護者名簿の封印管理など箕面市方式の研究 2. 交通安全対策について (1)新たな信号機の設置へ向けて (2)伊万里駅前交差点の渋滞解消 3. いじめ問題等に関する第三者機関の設置について (1)必要性の認識 (2)市長と教育委員の懇談 4. 消防広域化について (1)広域化による効果 (2)広域化の実働スタート時期 (3)消防審議会の設置	梶山 太 (一問一答)	1. 地籍調査完了地区における成果の利用状況について 2. 教育行政について (1)二里小学校の設計内容 (2)公民館の管理運営 3. 改正高年齢者雇用安定法について (1)本市の今後の取り組み
香月 孝夫 (一問一答)	1. 国道204号バイパスと臨港道路七ツ島線について (1)国道204号バイパスの都市計画変更の進捗状況 (2)臨港道路七ツ島線の進捗状況 2. 中山間地農業の振興について	松永 孝三 (一問一答)	1. 高齢者福祉について



民生委員、児童委員について

草野 讓

質問 今の制度、手かせ足かせの規制の中で民生、児童委員の本来の職務が果せるのか。

答弁 市民部長

厚生労働大臣から委嘱され社会福祉の増進や地域住民の生活状況の把握、生活困窮者の保護等身近な相談者として職務を遂行するが個人情報保護法やプライバシーの問題等調査活動に不便をかけている部分があると聞いている。

質問 個人情報保護法等様々な問題がある様が見直し改革改善を行い各委員が働きやすい環境作りや条例制定などに取り組むべきではないか。

答弁 市長

委員の皆様には日頃からお世話とご苦労をかけています個人情報保護法等で問題があると思っています。委員協議会と連帯し条例制

一般質問

定等は話し合いながら判断していく。

大気汚染関連について

質問 今大気の汚染問題が新聞等で取り上げられていて。聴き慣れない言葉がありPM2.5もそうだがどの様なものでどの位吸い込むとどの様な症状が出るのか、又被害者が佐賀県と本市に出ているのか。

答弁 市民部長

PM2.5は非常に小さな粒子の事でばい煙やスモッグ等に混じり小さい粒子の為、肺の奥深く入り込み喘息や気管支炎等の疾患が出る事がある県内における被害者はいない。

質問 県内20ヶ所に測定所を増設されるが発生する前に地域住民にはきちんと防災説明をすべきである。

答弁 市民部長 市広報やホームページ等を活用しながら的確な周知に努める。

ごみの集積所整備補助事業並びに防犯灯設置費助成事業について

山口 恭寿

質問 今期、両事業とも補助金が減額されている。その理由は。

答弁 市民部長・総務部長

予算内に納め1件でも多くの行政区に行き渡るため。

質問 予算内に納めるためと言っているが、防犯灯は電球の現物支給額25万が丸々削られている。近隣(唐津市、武雄市、有田町)で伊万里市が一番補助額が少ない。もつと予算を上げるべきではないか。

答弁 市長 ゴミに関しては受益者負担の原則から行政区で引き続きお願いする。防犯灯は市民の安心・安全に係ってやることなので庁内で検討する。

市内中学校の立志式について

質問 市内中学校での立志式の開式状況は。

答弁 教育部長

市内では半数の中学が実施。

質問 東陵中学や西有田中学の立志式では志の大切さを教え、生徒1人1人に立志の誓いを述べさせる事で、進路や将来の目標設定、生徒自身の基盤作りにつながっている。また、保護者参加型であれば、自分の子どもが何を目標にしているのかわらためてわかるという。是非、昔の元服式のように早い段階で子供達に責任感を自覚させ、明確な夢や目標を掲げさせる立志式を市内全中学で行って欲しい。

答弁 教育部長 各中学校の現在行っている行事を尊重しつつ、市内校長会などで話し合ってみる。



交通安全対策について

盛 泰子

質問 ①信号機は県予算で公安委員会が設置するが、市内でも待機箇所が多い。どのような状況か。②駅前交差点の渋滞緩和を。

答弁 総務部長

①伊万里市では各町からの要望箇所について、市・国道事務所・警察などの関係者で交通量や事故量などを点数化・客観化し優先順位を決定。現在は渚交差点、西田病院三叉路、弁天団地入口、古賀西念寺下などの順序で待機状況。②これまで警察は「右折レーンが無いため矢印信号は不可能、時差式信号は危険性を伴うので新設しない」としていたが、警察の再検討結果を待っている。

答弁 市長 ①県の予算が増えないと、いつまで経っても信号機が設置されない。交通違反の罰金あたりで予算を増やす

ことが出来ないか考えてみたい。

いじめ問題への第三者機関

質問 学校が対応に苦慮する事案が発生した場合に専門的な対応をする機関が必要。

答弁 教育部長

必要性や課題を出し合う段階で、具体的な議論に至っていない。今後、議論する。

原発事故時の避難所

質問 県・市暫定計画で、例えば立花町は鹿島市内公共施設への避難とされているが、周知不足ではないか。

答弁 総務部長

県の決定後、市の防災会議での承認を受け、広報やホームページに掲載。区長会で説明し、区民への周知も依頼。今後も広報を続ける。

(数問省略)



一般質問

国道204号バイパスと臨港道路七ツ島線について

香月 孝夫

質問 市では平成25年度中に、国道204号バイパス（二里黒川線）の、都市計画決定を目指しているが。

答弁 政策経営部長

県の方では、路線変更などについて、5回にわたり関係地域を代表される方と意見交換。平成23年2月「海側ルート」で整備方針が決定。その後住民説明会が開かれご理解を得た。しかし決定までには、原案の作成や解決すべき課題も多く、時期がずれ込む可能性が高まった。

質問 臨港道路七ツ島線の完成予定年度は。

答弁 政策経営部長

平成25年度完成予定が、計画の遅れにより、改めて予定が示される。

質問 牧島・黒川・波多津地区などの、交通安全対策や渋滞緩和を目指し、都市

計画変更の早期決定を求めていくことが必要ではないか。

答弁 市長

決定には、地すべりや字図、防災など問題を解決する必要はある。それに向けた働きかけをはじめ、支援やサポートを行っていきたい。

中山間地農業振興について

質問 国は農業中間管理機構（仮称）を設立し、農地のフル活用を目指しているが、伊万里市の考えは。

答弁 産業部長

構想段階ではあるが、攻めの農林水産業の具体化の一つ。中山間地域は、多面的機能も有するため、直接支払等交付金等を活用し、活性化に取り組んで頂きたい。山間棚田などへ農業支援策は。

答弁 市長

国などの事例を参考に、中山間地の集落の機能維持や活性化に繋がる支援を行っていききたい。

地域の元気推進事業について

副島 明

質問 本年度からの制度の見直し点。

答弁 政策経営部長

まちづくり運営協議会組織の見直し、計画の見直し、毎年度交付額の見直しを行なう。

質問 この事業は基金で運営されているが基金が枯渇していくなか来年度の事業はどうするのか。

答弁 政策経営部長

必要な事業と考えているので予算を確保し継続していきたい。

第三次財政基盤安定化計画について

質問 計画では基金を取り崩しても財源不足が見込まれるがその取り組みについて。

答弁 政策経営部長

歳入と歳出、両面の取り組みが必要で退職手当債の活用などで財源の確保を図

り、特別会計などの経営改善、職員数の抑制など歳出の削減に努める。

質問 長期で考えると基金に一定の繰入をしなければいけない、県内の他の市町と比較すると市債残に対して基金残があまりにも少ない。

答弁 経営政策部長 基金に一定の繰入は必要と思うが財政を見るときは国が示している指標で見ればきで市債残と基金残の比較でみると不安をかき立てることになる。

九州電力との安全協定について

質問 事前了解を含む立地自治体と同等の安全協定を求める理由。

答弁 市長

東北の大震災で地元という範囲の考えが変わったと思う、伊万里も地元である、市民の安心、安全の担保として地元の同意が必要と考えるからです。

質問 市長でありつづける限り言い続けてもらいたい。

答弁 市長

言いつづけます。

空き家条例における補助金とは

多久島 繁

質問 危険家屋解体における補助金は非課税世帯のみを対象としているが、税金を納めたはずの納税世帯に補助がないのは不公平ではないか。

答弁 建設部長

撤去費用の50%で上限50万円を限度としているが、対象者が所有者・相続人で過去3年度分が非課税世帯であることで、全ての世帯が対象とはなりません。自らの資力で撤去できない非課税世帯に補助するものである。

質問 市に対し危険家屋の寄附の申し出があった場合の対応はどうするのか。

答弁 建設部長

対象家屋と土地とが一体となった寄附でないときない。借地上的危険家屋は対象にならない。

質問 補助金や寄附・代執行を行う前に、跡地を希望

一般質問



する方に働きかけは出来ないか。

【答弁】 建設部長

購入希望者がある場合などは直接売買や譲渡ができるよう、所有者や地域住民に働きかけるのも必要と考える。この場合購入者が建物の撤去を行うこととなる。

浦之崎地区廃棄物処理用地の早期開発で雇用確保を

【質問】 3工区内の内、IのI工区でも12万㎡の土量が不足するが対応は。

【答弁】 政策経営部長

県・国に対して提案活動をして確保を願っているが、現時点では確実ではない。

【質問】 埋立完了後、直ちに企業の立地が望まれるが。

【答弁】 政策経営部長

企業立地が早期に必要と思われ、開発構想を積極的に県に働きかける。

建設行政、教育行政及び総務行政

梶山 太

【質問】 地籍調査完了地区における成果の利用状況。

【答弁】 建設部長

過去3ヶ年の利用実績は、単年で6百人を越えている。

【質問】 地籍調査完了後の市民サービス。

【答弁】 建設部長

引き続き交付を継続し、市民サービスに努めていく。

【質問】 今後の取り扱いについては、市内でも十分な協議を行う。

【答弁】 中央5館の人員配置。

【答弁】 教育部長

今現在、中央5館の人員配置については、他館と比べて1名少ないというのが実情である。その対応として、臨時職員の勤務時間の延長、休日出勤の場合は、出勤日の調整を行ってきた。

さらに平成24年度より年間350時間の勤務時間を確保するよう勤務形態についてはバランスを配慮している。

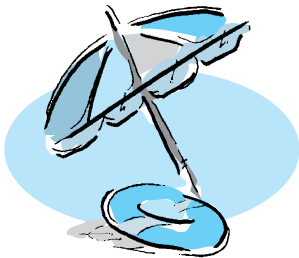
【答弁】 市長

市の職員配置に関しては、企画課、事務改善係において適正配置の方策を実施している。今後は、各部署の仕事量などについて綿密な調査資料を作成し、定数査定会議で検討していく。

【質問】 本市の再任用の取り組み。

【答弁】 総務部長

市退職者については、3年をメドに再雇用を実施している。国の再任用の要請を受け平成26年度より再任用希望者全員を対象とする予定である。本年1月より再任用制度に関する研究会を設立し、制度の確認や退職者数の把握をするなど取り組んでいく。



高齢者福祉について

松永 孝三

【質問】 伊万里市における急激な高齢化に対応するための施策について。

【答弁】 市民部長

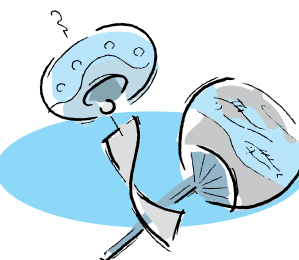
本市で暮らす、すべての高齢者が個人の尊厳を保持し、住み慣れた地域で、いつまでも健やかに、安心して暮らせるように、平成24年から平成26年まで、第2次高齢者福祉計画及び第5次介護保険事業計画に基づき、①介護保険サービスを利用しやすい環境づくり②介護予防の推進により健康に暮らせる環境づくり③安心して暮らせる、人にやさしい環境づくりの3つの政策目標を掲げ、推進しているところがあります。

【質問】 市長が目指す伊万里市の高齢者福祉政策について。

【答弁】 市長

こうした社会情勢のなかで、社会的弱者と言われる

高齢者・障害者・幼児等が、住みなれた地域で安心して暮らせる環境づくりが求められております。そのため、福祉ニーズや課題に適切に対応するためには、地域住民と行政が協力し合い、連帯・協働していくことが不可欠であります。そのためには、「地域の力」が重要になってまいります。公共的な支えというものも確かに必要ですが、行政の力だけでは限界があります。いざれにしましても、自らの努力、近隣同士の助け合い、公的な福祉サービスの三つの機能を連携させ、「みんなで支え合う・あたたかい地域づくり」を目指してまいります。

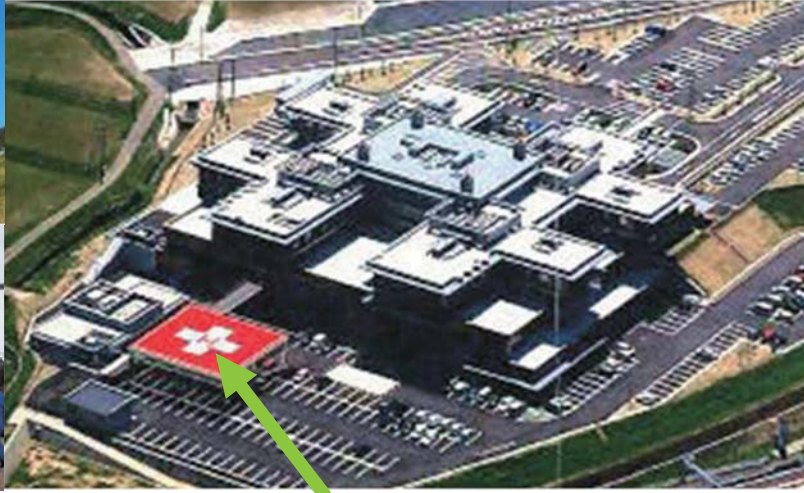


伊万里有田共立病院にヘリポートを整備

6月25日に「伊万里有田地区医療福祉組合」議会（定数12）の臨時議会が開かれ、職員給与の引き下げと事務組合理約の変更、ドクターヘリの発着場設置、医師住宅建設の「補正予算」2億1775万円が提案され、賛成多数で可決しました。このうちドクターヘリ発着場は、現在の職員駐車場の上に2階建てで建設予定で、9月から工事着工、26年3月完成、同4月より運用開始の予定です。この為、離着陸時の騒音などに理解を求める地域住民説明会が有田町二ノ瀬地区、二里町区長会のほか隣接する作井手、吉野、古子地区への説明会も開催予定です。



ドクターヘリ「ホワイトバード」



ヘリポート設置イメージ図

編集後記など

お詫びと訂正

・市議会だより第45号に掲載いたしました平成25年度特別会計当初予算206億5133千円については、企業会計当初予算48億5605千円を含む金額になっておりました。

・常任委員会報告の文教厚生委員会の教育費の小学校建設事業の説明文に誤った文章を掲載しておりました。

・「につぼん丸」の5月10日（金）伊万里港寄港のご案内をいたしておりましたが、当日悪天候のため博多港に寄港いたしました。

お詫びと訂正いたします。

暑中お見舞い

申し上げます

公職選挙法の規定により、選挙区内の皆さんへの金品を伴った初盆のお参りや、時候のご挨拶には制限がありますので、失礼させていただきます。

議員一同

編集後記

伊万里市議会の動きをコンパクトにお伝えするのが「議会だより」。

しかし、どうしても議会で行われた議案・常任委員会の内容や一般質問等、「市民のみなさまにお伝えしなければ」との思いから、情報量優先の紙面になっています。

今後は可能な限り、画像を多く取り入れたり、文字を大きくしたりし、「より分かりやすく、より親しみやすく」をモットーに、市民のみなさまの目線に立つて、紙面作りに、新メンバー一同取り組んでまいります所存です。（香）

編集委員

◎占野 秀男 ○香月 孝夫

東 真生 井手 清敏

山口 恭寿 盛 泰子

・顧問 松尾 博幸 松永 孝三

発行 伊万里市議会

伊万里市立花町一三五五一
☎0955-1231-25994
☎0955-221-2777
Email: gikai@city.iwari.jp

編集 市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社